

健康管理士一般指導員活動事例取材シート

健康管理士番号	H - 13627
お名前	加藤 健
性別	男
年齢	43歳



なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？

私は小さい頃より体が弱く、喘息をわずらったり、自家中毒をしばしば起こし、2～3ヶ月に1回は点滴を打つような少年時代でした。従って、他人より健康に対する関心は高かったのですが、その興味を直接活かせるような出会いはありませんでした。しかし、知人からこの健康管理士の話聞き、これなら自分でも関わる事ができそうだと資格取得を決意しました。

健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？

大学受験以来の試験勉強となったわけですが、テキストの内容も興味深いところが多く、集中して学ぶ事ができました。病気や病気の予防に関する正確な知識、また最新の数値などを知る事ができた事は大きな収穫でした。また、介護や保健等に関する知識はほぼ皆無だったため、非常に参考になりました。試験前の講習のおかげもあり、一発合格できました。

健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？

テキストや「ほすぴ」をはじめ、健康セミナーや書籍などを参考にし、約二週間に一度、メールマガジン「健康インフォメーション」を発行しています。また、日頃近しい方々でインターネット環境のない方に関しては、このメルマガをプリントしてお渡ししています。近頃、「健康に詳しい人」という事で、健康相談を受ける事も増え、わからない事は調べたうえでお答えする様にしています。

その他「ほすぴ」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。

「ほすぴ」の研修問題は、テキストを熟読する事にもなり、とても勉強になります。また、常に新しい健康情報が提供される事により知識が蓄積され、今までのにあった知識もブラッシュアップされ、とても役に立っています。今後、日本も治療医学から予防医学へとシフトしていく事と思います。栄養学的な面からの予防などの情報を充実して頂くと嬉しいです。